

貨物ダメージ情報管理の効率化 および貨物ハンドリング品質向上

HITACHI
Inspire the Next

貨物運送時に、空港等の貨物引き渡しポイントで収集した貨物ダメージ情報(画像)を貨物属性情報と紐付けて管理・蓄積することで、ダメージ発生状況などについての分析を可能とし、貨物ハンドリング改善を支援

お客さまの課題

- ・ 空港等の貨物引き渡しポイントにおいて、貨物ダメージ状況の証跡としてデジタルカメラで撮影した画像を利用する際の画像保存、検索工数大

データ価値化の流れ

データ収集

- ・ モバイルデバイスからの貨物のダメージ情報 (ダメージ種別、ダメージレベル、画像)
- ・ 貨物を特定するキー情報 (航空便名、コンテナ番号、航空運送状情報等)
- ・ 貨物の属性情報 (発着地、経由地、代理店情報、貨物品名等)

データ分析

- ・ 貨物ダメージ情報を、貨物キー情報や貨物の属性情報と紐付けて蓄積
- ・ 発着地や経由地、代理店など、貨物の属性情報を軸としてダメージ特性やダメージ状況を分析可能とすることで、貨物ハンドリングの改善方法の検討などを支援

データ価値創出

- ・ 貨物ダメージ管理業務の工数削減
- ・ 貨物ハンドリング向上
→ 例：貨物の梱包材料(ダンボール材質)や積み付け方法等を改善することで、貨物ダメージ減に貢献
- ・ 貨物ダメージ問い合わせへのレスポンス迅速化

本ユースケースを提供するソリューション・製品

- ・ 貨物ダメージ情報管理ソリューション (株)日立ソリューションズ・クリエイト
- ・ (関連するソリューション) [快作モバイル+](#) (株)日立ソリューションズ・クリエイト

導入実績のある業種

- ・ 航空運輸業